



信夫中生徒
建設業学ぶ
大手で現場學習

国土交通省福島河川
国道事務所と県建設業
協会の体験型現場学習

会は二十日、福島市大
笹生の不動沢第三砂防
堰堤外工事現場で開か

れ、子どもたちが建設
業の仕事に理解を深め
た。

生徒は三班に分か
れ、コンクリート製作
や測量、建設

機械の操作な
どを体験し
た。コンクリ
ート製作では
セメントと砂
利、砂、水を混
ぜて練り、型

コンクリート製作に挑戦する生徒ら
に入れて実際にコンクリートを作った。

建設業に興味を持
つてもうおひいきの中学生
を対象に平成二十六年
度から開催している。
今年度は二本松市に続
いて二回目で、福島市
の信夫中の 1・2 年生
二十三人が参加した。
同事務所職員と同協
会員などが講師を務め
た。



「シンクコーアウェイ」を体験する生徒

地整福島と
県建設業協会

中学生が建設業体験 現場学習会で魅力伝える

東北地方整備局福島河川国道事務所と県建築業協会は20日、福島市で今年度2回目となる中学生を対象とした体験型現場学習会を開き、福島県立信夫中学校の生徒20人がコンクリートの製作やブロックの操作などを行い、建設業に対する理解を深めた。

北地方整備局と東北建設業協会連合会、東北建設青年会が昨年度から実施し、今年度に本格運用している人材確保に向けた取り組み、福島市大笹生字長老壇地内の不動沢第3砂防堰堤ほか工事（同事務所発注）で行われている松川遊砂地護岸工の現場で行われた。

家庭部の1・2・3年生23人が部活動の一環として参 加した。県建設業協会会長年部の野地武之会長、吉田幸司事業創造委員長ら 部員5人と不動沢第3砂防堰堤ほか工事を施工する葛久泉工業の高野英順 現場代理人ら社員13人がサポートした。

魅力を知りて、将来の仕事の選択肢としてほしい」と語るだけだ。

参加した生徒の半数が「女子だった」ともあり、富久翠工業の加藤絵美子さんが「一旦家庭に入り、戻って仕事をしている」結婚してもできる職業と女性の立場から建設業の魅力を伝えた。ドロ

の型枠に流し込む作業を行つたほか、測量体験は光波測量機の精度の高さを学んだ後、歩測の数値を競い合い、上位の生徒には記念品を贈つた。建設機械の操作体験では、生徒たちがそのまま驚きながらもグラップルを受けた油圧ショベルで丸太を挟んだり、大型

仕事をしてくれるメンバ一概要を説明した。

概要を説明した。

概要を説明した。
生徒らは3班に分かれて、
①コンクリート製作②機械操作一連の実験を行なった。材料からコンクリートの性質を学んだ。

昭和引留所長が建設業の仕事を理解して興味を持つものと一緒に

ンを弄はして撮影した現
場のライブ映像を見せな
がら、菅野代理人が工事

ブルドーザー(41)
ブレードを動かしたりして楽しんだ。